



議会だより

No. 105

平成27年4月
発行/日野町議会

3月定例会 主な内容

- ・27年度当初予算 p2~3
- ・予算審査特別委員会 p4
- ・補正予算、条例関係 p5~6
- ・議会報告会 p7
- ・特集コーナー p8

根雨で、町民の祝福を受けて花嫁行列



平成27年度 一般会計主な歳出

単位：万円

町議会議員選挙	町議会選挙に係る経費	633
ふるさと納税	ふるさと納税カード決済、記念品拡充等	104
電源立地地域対策交付金	リバーサイドひの、図書館の照明をLED化する	500
過疎対策	御用聞きサービス実証実験事業継続 見守りサービス委託と移動販売運営助成	920
過疎バス対策事業	町営バス4路線の管理運行委託及び米子線の路線維持	2,633
町史編さん	報酬等	330
地域自立支援事業	住民による地域活性化のための活動 交付金 上限20万円	240
生活交通対策支援	タクシーの運賃補助	396
わが町支え愛活動支援	見守り体制の構築、個別避難訓練等 支え愛活動を行う自治会への交付金 1地区10万円上限	50
児童手当	中学校修了前まで子育て支援	3,300
環境保全型農業支払対策	海藻米生産振興補助金等	418
中山間地直接支払交付金等	農業維持・農地保全など	5,206
地域おこし協力隊支援	地域おこし協力隊の報償費・活動費	1,648
移住定住・空き家対策	移住者向け住宅整備補助金等	619
多面的機能支払い事業	農業用水路、農道、農地の維持管理 機構、耕作者集積協力金等	1,842
担い手への農地集積推進		130
若者定住住宅建設	野田地区に若者定住住宅を建設	4,970
外国語指導助手配置	外国語教育の充実	528
体育大会等選手派遣費補助	全額補助として計上	77
放課後子ども教室	安全・安心な居場所支援	584
根雨小、黒坂小工事請負	各教室にエアコン設置	3,300
おひさま広場事業	ひのっこ保育所と連携し子育て支援	391
社会福祉協議会助成	高齢者支援等	830
児童扶養手当	ひとり親家庭に、児童扶養手当	1,238
西部広域行政管理組合	広域消防、清掃事業等に対して負担	1億3,483
日野病院組合事務	日野病院運営支援	3億3,148



地域おこし協力隊が屋号マップ作成



多面的機能支払い事業（農道舗装）

平成27年度
当初予算

子育て支援
若者定住促進
医療と保健、福祉の連携
地方創生に重点

単位：万円

予算内訳	会計/区分	平成27年度当初予算	前年度比較	採決表
一般会計		32億0,253	3億0,468	反対者佐々木求 梅林智子 賛成者 7人
特別会計	国民健康保険特別会計	4億6,108	6,428	全員賛成
	介護保険特別会計	6億1,949	3,070	全員賛成
	後期高齢者医療保険特別会計	5,726	78	全員賛成
	簡易水道特別会計	9,796	△520	全員賛成
	公共下水道事業特別会計	1億0,088	△882	全員賛成
	農業集落排水事業特別会計	4,988	△176	全員賛成
	鳥取県西部町村情報公開・ 個人情報保護審査会特別会計	47	△24	全員賛成
	計	13億8,704	7,995	

3月定例会

第2回定例会は、3月3日に開会。会期を3月19日までの17日間とし、平成27年度当初予算8件、平成26年度補正予算4件、条例の制定3件と一部改正18件、指定管理者の指定1件、経費の賦課基準及び徴収の時期方法1件を原案どおり可決しました。
一般質問では、6人の議員が活発な質問・意見を展開しました。

平成27年度一般会計歳出予算性質別集計表

単位：万円

科目	本年度	前年度比較
人件費	6億0,524	1,481
物件費	3億6,102	3,088
維持補修費	3,406	△146
扶助費	2億7,385	344
補助費	8億3,448	1億0,055
普通建設事業費	1億7,757	1億0,157
公債費	5億3,943	5,854
積立金	311	140
貸付金	280	△100
繰出金	3億6,594	△409
予備費	500	0
合計	32億0,253	3億0,468

合計に差違が生じます。



若者定住住宅と部屋

各ページの金額は、全て千円未満を切り捨て表示しています。

きめごと

- 500円以上のお食事1個スタンプを押します。
- 異なったお店番号(裏面の地図①～④)が4つ揃うこと。
- 各お店で4つの違った顔のスタンプ(⑤～⑧)を用意しています。
- 同じ顔のスタンプがあると無効となりますのでご注意ください。
- ラリーののぼりの立っているお店以外では使用できません。

500円 お食事券

おめでとうございます。町内4ヶ所のお食事処を完走されましたので本券を500円の食事券としてご利用できます。

※発行店印の無い場合は無効となります。
※本券はラリーの参加店以外のご使用はできません。

お食事券利用者 (あてはまる所にO印をしてください)

町内 町外 町外在職者

日野町地域経済活性化事業

昼食限定 **スタンプラリー**

各ページの金額は、全て千円未満を切り捨て表示しています。

一般会計反対討論

佐々木 求議員

隣保館関連で1123万円。同和教育費で390万円と、同和対策関連予算が相変わらず計上されています。根拠法がなくなり14年、断じて許されるものではありません。県の支出が基礎自治体の本来の姿をゆがめてしまっています。長引く事態の正常化は喫緊の課題です。即時廃止こそ町民の願いであると考え、反対討論とします。

一般会計賛成討論

中原 信男議員

平成26年度補正予算と合わせ14ヶ月予算となっている。次世代の育成、地域資源の活用、安心・安全な暮らしを守る、三本の施政方針に基づき予算編成されています。前年度比10・5割増の積極的な予算となっています。基金積み立ても15・8億円と、財政基盤強化の礎として積み立てられ、積極型予算かつ堅実型予算と思ひ、賛成討論とします。

予算審査特別委員会

委員会は全議員で構成し、委員長に小谷博徳議員を選出。平成27年3月5日、6日、13日に開催して、一般会計・特別会計予算について、関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。

予算審査意見

◎道路維持一般管理

町道の管理などは、緊急雇用で対応しているが、高齢化により町の管理範囲の拡がり予想される。必要に応じた雇用の拡大などの柔軟性を持った対応をされたい。

◎地域おこし協力隊支援事業

地域の維持・再生、活性化に大きな成果が出ている。今後も、全町の視野に立った事業の展開を期待したい。地域力の弱い集落等に、積極的に行政の支援・関わりをウエイトを大きくして、事業の推進に期待したい。

◎過疎対策 ご用聞きサービス実証実験

移動販売車と連携した御用聞きサービス実証事業の検証を行い、地域の様々なニーズに応えられるよう、さらに御用聞きの内容・制度の充実を期待したい。

◎日野高校魅力向上事業

地元の高校存続を懸けた事業であり、地域の魅力と学校の魅力を、学校が実践出来ない部分の発掘をされ、広く情報発信されることに期待をしたい。

◎環境保全型農業直接支払い対策事業

有機農業・海藻米農業などの取り組みにより、農業者の所得向上の取組みは評価したい。一部農業者に偏ることなく、広く農家に呼びかけ日野町産米のブランド化に結び付くことを期待したい。

◎中山間地地域等直接支払事業・多面的機能支払事業

高齢化による参加集落の減少が危惧される。その主因は、取り組み事務取扱者の不足という声を聞く。集落が安心してこれらの事業に参画できるよう、事務取扱支援の方策を考えられたい。

◎体育大会等選手派遣費補助金事業

小学校の学校行事に係る公式大会並びに中学校体育連盟、文化連盟に係る大会派遣費の全額補助は、保護者負担の軽減からも大きく評価できる。

◎若者定住住宅建設

人口増に対応した施策として、評価したい。委員会等のあり方を含め、事業決定するまでのプロセスを大事にされたい。

予算審査特別委員会 可決

予算審査特別委員会は、一般会計を賛成多数で可決。7特別会計を全員一致で可決して、上記の意見書を付けて、平成27年度より取り組まれる地方創生をかけた施策や事業にしっかりと取り組まれ、更に充実した日野町版総合戦略の施策を切望すると結び、本会議で報告しました。



日野高校生 街中学習

3月定例会補正

特別会計補正予算

国民健康保険（第3号）
歳入歳出それぞれ
1019万円減額

総額4億3734万円

介護保険（第3号）

歳入歳出それぞれ
2万円追加
総額5億9618万円

総額5億9618万円

一般会計補正予算

（第7号）（第8号）
4881万円を追加
総額32億1621万円

主な歳入

- 地方交付税 155万円
- 観光費寄附 350万円
- ふるさと納税 125万円
- 地方創生 国からの補助金 4,129万円
- 地域活性化・地域住民生活緊急支援交付金

主な歳出

- 若者定住者による定住推進プロジェクト 233万円
- 子育て支援事業 238万円
- （0歳から3歳児誕生月に3万円給付等）
- 日野町教育ICT活用事業（各小学校に電子黒板と四年生以上にタブレット購入等） 854万円
- ブランド特産品開発 196万円
- （まちなか）図書館 120万円
- 「漫画四人書生」キャラクターグッズ作成 105万円
- 観光看板イメージアップ事業 400万円

都合山遺跡等たたら活用推進事業 161万円

鳥取大学との連携による住民包括ケアシステム構築事業 162万円

空き家調査事業 253万円

高速プロードバンド検討会 20万円

日野町プレミアム付き商品券発行事業、昼食限定スタンプラリー事業等 1020万円



昼食限定スタンプラリー参加店マップ

条例の制定と一部改正

・反対者のみ記載

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正によるもの

○日野町議会委員会条例の一部改正

教育委員長の職務は教育長に一本化されるので文言整理するもの。

○日野町職員定数条例の一部改正

教育長は町長、副町長と同様の常勤特別職として取り扱う。

○日野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

本条例から教育委員長に

関する箇所を削除する。

町史編さん委員を新たに設置、委員の報酬を月額2500円とする。

○日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

反対者 梅林智子議員

○日野町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

反対者 梅林智子議員

○日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

反対者 梅林智子議員
松本利秋議員

左記の答申の通り改定しました。

特別職の給与

町村長	月額	810,000円
副町長	月額	648,000円
教育長	月額	579,000円

町村議会議員の報酬

議長	月額	316,000円
副議長	月額	235,000円
議会運営委員長、常任委員長	月額	226,000円
議員	月額	221,000円

西部地区特別職報酬等審議会答申

各ページの金額は、全て千円未満を切り捨て表示しています。

○日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正

内国旅行に係る日当を支給しないようにするための期間を1年間延長するもの

日野町根雨143の1に若者定住住宅を新設
家賃 28000円

(印は条例名のみ記載)
○日野町特別医療費助成条例の一部改正

する基準を定める条例の一部改正

計画変更
○日野町過疎地域自立促進計画の変更

○日野町職員の給与に関する条例の一部改正

月例給を平均約2・0割引き下げ。若年層に配慮し1級および2級12号までは減額しない。

○日野町史編さん委員会設置に関する条例の制定

日野町の歴史や文化を振り返り、後世に引き継いでいくための町史編さん。

○日野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

指定管理者指定
○日野町普福食文化伝承館の指定管理者の指定

（号給の切り替えに伴う経過措置）平成30年3月31日までの間、給料月額のほか、その差額に相当する額を給料として支給する。

○日野町介護保険条例の一部改正

左記の表の通りです。

○日野町立社会体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正

○日野町普福食文化伝承館の指定管理者の指定
菅福元気邑代表
小谷久子
平成27年4月1日から平成37年3月31日まで

○日野町情報公開条例の一部改正

「特定独立行政法人」は廃止となり、新たな身分として「行政執行法人」が定められた。

○日野町税条例の一部改正

個人町民税の控除対象の追加、特定非営利活動法人鳥取県自閉症協会に対してなされた寄付金を加える。

○日野町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

賦課基準
○平成27年度日野町営土地改良事業経費の賦課基準並びにその徴収時期及び方法
中菅水路改修事業に事業費の2割相当額
榎市水路改修事業に事業費の2割相当額
徴収時期は、平成28年3月31日限り

介護保険料の改定		
第6期介護保険事業計画		
区分	所得区分	保険料年額 (月額)
第1段階	生活保護受給者 住民税非課税世帯かつ 年金収入等80万円以下	33,545円 (2,795円)
第2段階	住民税非課税世帯 かつ年金収入等80万円 超120万円以下	50,318円 (4,193円)
第3段階	住民税非課税世帯 かつ年金収入等120万 円超	50,318円 (4,193円)
第4段階	本人住民税非課税（世 帯課税） かつ年金収 入等80万円以下	60,381円 (5,032円)
第5段階	本人住民税非課税（世 帯課税） かつ年金収 入等80万円超	67,090円 (5,591円)
第6段階	住民税課税 かつ合計 所得120万円未満	80,508円 (6,709円)
第7段階	住民税課税 かつ合計 所得120万円以上190万 円未満	87,217円 (7,268円)
第8段階	住民税課税 かつ合計 所得190万円以上290万 円未満	100,635円 (8,386円)
第9段階	住民税課税 かつ合計 所得290万円以上	114,053円 (9,504円)

出かける議会

意見・要望の回答

平成27年1月24日、31日に開催しました議会報告会及び意見交換会で、伺いましたご意見を議会で検討しましたので報告します。

1月24日、井の原集落（4世帯6人在住）にて議会報告会を開催しました。

主な意見や要望

タクシー利用の制度を詳しく知りたい。

回答 年齢が75歳以上、車の運転が出来ない人。年齢が65歳以上で、公共交通の利用が出来ない人。要介護認定者。身体障がい者の人は、町に申請し登録を行ってください。年間利用枚数は上限48枚です。その他、透析患者や町長が特に認めた者。

利用交通機関 日本交通根雨営業所・日南タクシー



井の原集落での議会報告会・意見交換会

共有林の固定資産税について。対象者が遠隔地や行方不明などにより、徴収困難な状況に困っている。

回答 社会福祉協議会が行っている無料法律相談を利用されて、法的対処を聞かれたらいかがですか。



中菅集落での議会報告会・意見交換会

ぼかぼか教室など町が行う健康サービスなどはどうしていますか。（議会より）

回答 1名参加している。隣の諏訪集落に出かけて一緒に行っている。27年度より、出前公民館と移動図書館を合わせた健康教室などの豊富なメニューもそろえています。

1月31日、中菅集落にて14名の参加をいただき、議会報告会を開催しました。

主な意見や要望

高齢化で配布物が大変になってきた。

回答 集落で話を持ちかけ、役場地区担当者や自治会長で話し合いを持ち、よい解決方法を話し合ってください。

集会所が老朽化している。どういった助成制度があるか。

回答 宝くじの資金を使う「コミュニティ助成事業」があります。1500万円まで。3分の2を助成。詳しくは企画政策課

電話 7210332

荻荷谷堰の土砂撤去の方法はないか。

回答 4月14日役場・県の会議で要望を実現できるような役場に要望しました。

農業用水桶門の開閉が高齢化で困難。雨後の大水で土砂の堆積除去も困難。

回答 桶門の開閉はハンドルの工夫で解決できる。土

砂排出は、取水口の改良を県に要望を出す。

天郷坂裏山崩壊の改修計画は。

回答 改めて調査結果を担当課より説明させます。

天郷坂で防災無線が聞こえない。

回答 即日業者が点検、外部アンテナを設置改善。

法面の猪被害は。

回答 所有者負担が原則であるが、被害拡大の状況が考えられる。検討が必要。

空家情報はどこに聞けばよいか。

回答 企画政策課です。27年度より空家コーデイナーを置き、対応を進めます。

電話 7210332

議会広報常任委員会では、広く皆様の声を聞き、出来るだけ要望に応える対処・対応を考えています。いつでも、どこでも、少人数でも出かけていきますので、出かける議会を遠慮なく申し出てください。

がんばっている人・団体を、
シリーズで紹介します。

出雲街道根雨宿 花嫁行列

日野町商工会青年部



第2回花嫁行列実行委員会のメンバー

第2回、出雲街道根雨宿花嫁行列にあたり、日野町商工会青年部と町の20代・30代の有志で実行委員会を立ち上げました。

日野町でも大正時代まで、よく見られていた、花嫁行列を復活し

て「まちの賑わい」を少しでも、取り戻そうと結婚するカップルを募集しました。本年も地元青年が応募してくれました。この町を担ってゆく次の世代の新しい門出を盛大に祝福し、盛

り上げたいと広報活動にも力をいれました。

3月29日、甲

斐あつて街中には行列を待つ町内外の人、そしてカメラマン等で賑わい、驚きもありましたが嬉しくもありました。

地元有志の皆さんの傘踊りの祝福や、多くの町民のみなさまの笑顔で「おめでとう」「いいものを見せてもらった」「綺麗だった」と言われ、お年寄りの方からは「懐かしい」との声もありました。準備は大変でしたが本当にやって良かったです。

このイベントの費用は、町の交付金20万円とインターネットを活用した資金調達で、県外からたくさんのご寄付を頂いて実行できました。花嫁行列を通じて出



根雨の町並みと花嫁行列

雲街道根雨宿を知ってもらう機会と宣伝ができたと思います。

日野町は、人口減少でまちの活気がなくなってきました。そういうなかで花嫁行列を行うことが、地域のみんなに活気が出て、そして若者定住に結びつけばいいなと思っています。

日野町商工会青年部筆

あとがき

町議会議員選挙が、4月に行われることで、議会広報4月号は、慣例的に発行していませんでした。

3月議会は、一年間の予算を審議する定例会。その内容をお知らせすることは議会広報常任委員会の責務と考え発行を決めました。

あの鳥取県西部地震災害復興で多額の負債を負いましたが、ようやく財政再建も見えてきました。本年は、国の地方創生に係わる予算やその計画立案の大切な年となります。地方創生は、本町の真の復興のスタートです。町民が実感できる町づくりには大いなる期待を寄せたいと思います。

安達幸博 筆

議会広報常任委員会

委員長 安達 幸博

副委員長 松原 直人

佐々木 求

小谷 博徳

松本 利秋

梅林 智子